

決 算 報 告 書

2025年度決算報告書

【地方独立行政法人長野市民病院】

単位（円）

区分	予算額	決算額	差額	備考
収入				
営業収益	16,918,814,000	18,328,855,902	1,410,041,902	
医業収益	15,969,980,000	17,187,532,718	1,217,552,718	入院収益、外来収益の増加による。
運営費負担金収益	867,224,000	771,502,506	▲ 95,721,494	
その他営業収益	81,610,000	369,820,678	288,210,678	補助金収入の増加による。
営業外収益	119,636,000	187,281,781	67,645,781	
運営費負担金収益	37,100,000	52,241,435	15,141,435	
その他営業外収益	82,536,000	135,040,346	52,504,346	利息収入の増加による。
資本収入	198,000,000	267,500,000	69,500,000	
長期借入金	198,000,000	267,500,000	69,500,000	
その他資本収入	0	0	0	
計	17,236,450,000	18,783,637,683	1,547,187,683	
支出				
営業費用	15,848,276,000	17,237,334,026	1,389,058,026	
医業費用	15,583,689,000	16,945,128,861	1,361,439,861	
給与費	8,143,046,000	8,346,963,262	203,917,262	人事院勧告の影響による。
材料費	5,095,035,000	5,993,748,151	898,713,151	材料費の高騰、化学療法の注射薬等の増加による。
経費	2,284,732,000	2,533,059,175	248,327,175	設備関係費、減価償却費等の増加による。
研究研修費	60,876,000	71,358,273	10,482,273	
一般管理費	264,587,000	292,205,165	27,618,165	
営業外費用	133,623,000	102,133,362	▲ 31,489,638	
資本支出	652,445,000	848,247,652	195,802,652	
建設改良費	405,900,000	517,371,796	111,471,796	高額医療機器の整備等による。
償還金	244,145,000	330,875,856	86,730,856	
その他資本支出	2,400,000	0	▲ 2,400,000	
計	16,634,344,000	18,187,715,040	1,553,371,040	
単年度資金収支	602,106,000	595,922,643	▲ 6,183,357	

（注）損益計算書の計上額と決算額の集計区分等の相違の概要は、以下のとおりです。

- （１）損益計算書において計上されている現金収入を伴わない収益及び現金支出を伴わない費用は含んでおりません。
- （２）医業費用の給与費及び一般管理費に、退職金及び賞与支払額を決算額に含めております。
- （３）上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

地方独立行政法人長野市民病院 令和 8 年度(2026 年度) 年度計画

第Ⅰ 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

Ⅰ 市民病院が担うべき医療

(Ⅰ) 救急医療

ア 地域の中核病院としての救急医療の充実

救急車を原則として断らない体制を維持しながら、24 時間 365 日、地域住民に安心・安全な救急医療を提供する。

また、救急ワークステーション^{注1)}の機能強化を図る中で、救急隊員の資質向上や救命率向上に取り組むなど、地域の中核病院として救急医療の充実を図る。

イ 救急搬送患者の円滑な受入れ

消防等の関係機関と連携を図りながら、円滑な救急搬送患者の受入れに努めるとともに、中山間地域等からのドクターヘリによる搬送患者についても積極的に受入れを行う。

また、医療機関（当院）から直接出動して医師等を現場へ派遣する「ラピッド・ドクターカー」^{注2)}の試行運用を行うとともに、後方支援病院への救急搬送患者の下り搬送を含む病院間の搬送を行う。

ウ 重症患者の緊急治療・検査、緊急入院への対応

脳卒中や心筋梗塞、四肢外傷等の急性期患者に対する緊急治療・検査に迅速に対応するとともに、緊急入院患者の円滑な受入れを図る。

エ 長野市医師会との協働による夜間初期救急医療の提供

長野市医師会との協働による長野市民病院・医師会 急病センターの運営を継続し、夜間初期救急医療を提供する。

オ 地域の救急医療の質向上

救急隊との症例検討会の開催をはじめ、業務範囲拡大も踏まえた救急救命士のトレーニング及び医療従事者向け蘇生トレーニングコースへの協力などを通して、院内外の救急に携わるスタッフのスキルアップを支援する。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
救急車搬送受入件数の長野医療圏全体の救急車搬送件数に占める割合(%)	18.0	18.0

(注) 長野医療圏全体の救急車搬送件数とは、長野市消防局、須坂市消防本部及び千曲坂城消防本部の救急車搬送件数の合計。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
救急患者受入件数(件)	14,921
救急入院患者受入件数(件)	3,629

(2) がん診療

ア 地域がん診療連携拠点病院としての高度専門的ながん診療の提供

地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。

また、がんセンターを中心とした多職種によるチーム医療を推進し、患者の状態に応じた適切な治療を提供するとともに、がんに関わる有資格者の確保・育成を図り、がん診療の水準維持・向上に努める。

イ 先進技術を活用した手術の推進

患者の身体的負担（侵襲）を減らし更なる治療効果の向上を図るため、手術支援ロボットを 2 台体制で運用し、ロボット手術センターを中心に先進技術を活用した手術を推進する。

ウ 放射線治療の推進

放射線治療に関する有資格者を配置し、患者ニーズに応じて、様々な治療法の中から適切な方法を選択し、安全で高度な放射線治療の提供を図る。

エ 薬物療法の推進

薬物療法に関する有資格者を配置し、院内横断的なチーム医療を通して適切な治療や支援を行い、安全で質の高いがん薬物療法の提供を図る。

また、院外調剤薬局との連携を推進し、外来薬物療法の質を高める。

オ がんゲノム医療^{注3)}の推進

がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し、がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療並びに遺伝性腫瘍に対応する。また、院外からの紹介を積極的に受入れる。

カ がん周術期^{注4)}等の口腔ケア^{注5)}の推進

口腔ケア認定資格を有する歯科医師及び歯科衛生士を配置し、口腔ケアチーム等の活動を通して、がん手術患者や薬物療法患者等の口腔ケアを推進する。

キ 緩和ケア^{注6)}提供体制の強化

緩和ケアセンターに緩和ケアに関する有資格者を配置し、傘下の緩和ケアチームの活動等を通して院内外の連携を強化する中で、専門的な緩和ケアの提供を図る。

また、がん患者やその家族に対して、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）^{注7)}を含めた意思決定支援の提供を図る。

ク 相談支援体制の充実

国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして、専門的な知識を有する相談員の配置や利便性への配慮等により、院内外のがん患者・家族、医療機関等からの相談等に適切に対応する。

また、就労支援についても、専従の社会保険労務士を配置し、地域におけるがん患者の治療と仕事の両立支援を推進する。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
がん新入院患者数(人)	2,952	3,000

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
放射線治療延べ患者数(人)	394
薬物療法件数(件)	10,016
がん手術件数(件)	1,162
がん相談件数(件)	599

(注) 放射線治療延べ患者数は、一連の治療計画について1人として計上する。

薬物療法件数は、抗がん剤、ホルモン剤等の経口または静注による延べ治療件数。

(3) 脳・心臓・血管診療

ア 脳卒中治療の充実

地域の一次脳卒中センター（PSC）コア施設としての役割を果たすため、急性期脳梗塞に対する rt-PA（アルテプラザー）^{注8)} 静注療法^{注8)} や血栓回収療法等の脳血管内治療^{注9)} を積極的に推進し、脳卒中ケアユニット（SCU）を有効活用する中で、脳卒中治療の充実を図る。

イ 心臓・血管診療の充実

急性心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患をはじめとする様々な循環器系疾患に対し、循環器内科や心臓血管外科等が連携し、先進的な技術を積極的に取り入れてカテーテル治療や外科手術等の適切な治療を提供する。

また、下肢の血流障害に対して血管内治療等を提供するなど、足の血流障害に対するニーズにも対応する。

ウ 糖尿病治療の充実

糖尿病の治療や療養に関する有資格者を配置し、チーム医療による療養指導や入院や外来での栄養指導、糖尿病教室の開催など糖尿病患者に対する指導を積極的に行い、重症化防止に取り組む。

また、地域の医療従事者向けの研修会や、地域住民向けの講演会などを開催し、地域の糖尿病治療の質向上や糖尿病予防を図る。

エ 透析治療の充実

透析センターに透析治療に関する有資格者を配置し、患者の状態に応じてチーム医療による安心・安全でプライバシーや感染対策に配慮した透析治療を提供する。

オ 重症化予防

脳卒中、心不全、糖尿病、慢性腎臓病における重症化予防に向けた外来機能や相談窓口の充実を図る。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
脳血栓回収療法件数(件)	32
心臓カテーテル治療件数(件)	169
維持透析延べ回数(回)	8,962

(4) 手術・集中治療

ア 手術部門の体制強化

医師・看護師等のスタッフの適切な確保を図るとともに、手術室最適化プロジェクトチームを中心に手術室の運用効率化を検討し、手術部門の体制強化に取り組む。

また、専門知識を有するスタッフで構成する周術期管理チームの活動を推進し、手術を受ける患者に安心・安全な周術期環境を提供する。

イ 集中治療部門の機能充実

集中治療室（ICU）及びハイケアユニット（HCU・ECU）において、より安全で良質な集中治療を提供するとともに、病床の有効利用を図る。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
全身麻酔手術件数(件)	3,070	3,250

(5) 高齢者等に配慮した医療

認知症ケアチームの活動の充実を図り、高齢者等で認知症を持つ急性期患者に適切な認知症ケアを提供できる体制を強化するほか、身体拘束最小化チームを中心に入院患者への身体的拘束の最小化に取り組み、高齢者の ADL（日常生活動作）の維持・向上を図る。また、早期退院や寝たきり防止、QOL（生活の質）の向上などを目指して、排尿ケアチームによる排尿自立指導に取り組む。

高齢者の軽症急性期入院については、地域包括ケア病棟^{注 10)}等を活用し、適切に対応する。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
認知症ケアチーム新規介入件数(件)	1,037

(6) 急性期後の患者に対する医療

ア 訪問看護体制の強化

地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、24 時間訪問看護体制の強化を図る。

イ リハビリテーション提供体制の強化

リハビリテーションの提供体制を強化し、患者への訓練時間の増加に努めることで、更なる回復や生活の質の向上を目指す。

ウ 地域包括ケア病棟の効率的な運用

地域包括ケア病棟を効率的に運用し、在宅復帰支援やサブアキュート機能^{注1)}及びレスパイト機能^{注12)}など、地域で求められるニーズへの対応の強化を図る。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
地域包括ケア病棟への直接入院患者数(人)	673	施設基準要件以上
理学療法件数(件)	55,829	56,140
作業療法件数(件)	33,631	33,710
言語療法件数(回)	23,415	25,950

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
在宅復帰率 (7 対 1 病棟)(%)	96.0
在宅復帰率 (地域包括ケア病棟)(%)	81.7

(7) 子どもに関わる医療

ア 小児心身症・発達障害等の小児医療の推進

地域の医療・福祉機関や教育機関等と連携し、院内の多職種によるチーム医療を通して、小児心身症・発達障害等の専門的な治療を推進する。

イ 不妊治療の推進

生殖医療センターに生殖医療や不妊症看護に関する専門職を配置し、高度生殖医療を提供して不妊治療を推進する。

ウ 病後児保育への対応

市の子育て部門と連携し、院内託児所を活用した病後児保育を適切に運用する。

(8) 予防医療

市の健康福祉部門と連携しながら、人間ドックをはじめとする健診事業を通して、糖尿病や循環器病、フレイル^{注13)}、骨粗しょう症等の予防啓発や、マンモグラフィまたは超音波検査による市民乳がん検診の実施等により、がんその他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。

また、健診センターの運営体制の強化や効率化を図る中で、人間ドックの受入状況を改善するほか、健診の質的向上並びに快適性・利便性の向上を図る。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
人間ドック延べ利用者数(人)	7,998	8,200

(9) 災害時対応

ア 災害発生時の備えとしての医療・救護体制の整備

市との連携のもと、あらゆる災害を想定し、BCP（事業継続計画）^{注14)}の継続的な見直しを行うとともに、訓練や研修を充実させるなど医療・救護体制の整備を図る。

また、地震や水害等を想定した施設・設備の整備を図る。

イ 地域災害拠点病院としての役割

地域の防災体制の中で地域災害拠点病院としての役割を担うべく、必要な体制整備を図る。

また、長野県 DMAT 指定病院として必要な体制整備を図り、大規模災害時には県からの要請により、DMAT^{注15)}の派遣等、被災地域への支援を行う。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
日本 DMAT 資格保有者延べ人数(人)	16	20

(10) 新興感染症等への対応

新興感染症及び再興感染症^{注16)}の発生・拡大に備え、ハード・ソフト両面において感染症対策の強化を図る。感染発生時には、一般医療との両立を図りながら、長野県との医療措置協定に基づき、長野県等の関係機関・関係団体等との連携・協力のもと、迅速かつ適切に必要な医療を提供する。

2 患者サービスの向上

(1) 患者中心の医療

ア 患者の視点に立った「説明と同意」の徹底

長野市民病院が掲げる「患者さんの権利」に則り、医療上の情報提供及び十分な説明を受ける権利、並びに患者の自己決定権を尊重し、患者や家族に対する「説明と同意」の徹底を図る。

イ クリニカルパス^{注17)}の活用による医療の標準化及びチーム医療の質向上

クリニカルパスの適用拡大と評価・改善により、医療の標準化とチーム医療の質向上を図り、患者に分かりやすく安全で質の高い医療の提供に努める。

ウ セル看護提供方式^{® 注18)}による医療の質向上

令和6年度に導入したセル看護提供方式[®]により、患者の傍でケアできる時間の確保とケアの充実を図り、医療の質の向上に努める。

【目標指標】

指標	令和6年度実績	令和8年度目標
クリニカルパス適用率(%)	50.3	51.0

(2) 快適性及び利便性の向上

ア 接遇の向上

挨拶の励行を通して、来院者と職員、あるいは職員同士で心が通う明るい雰囲気づくりを推進する。

また、関連するカンファレンスでの検証や接遇アンケート、接遇に関する研修等を実施し、接遇レベルの向上に取り組む。

イ プライバシー確保や利便性に配慮した院内環境の整備

外来待合や会計窓口等における患者のプライバシー確保を図るとともに、利便性への配慮を行うなど、院内環境の整備に取り組む。

ウ 外来診療の待ち時間、検査・手術待ちの改善等

外来診療の運用見直しを進める中で、診察待ち時間や検査・手術待ちに関する課題の把握と改善に取り組み、患者の利便性向上に努める。

エ 患者満足度の向上

患者満足度調査の結果に基づき、データの経年比較や他施設との比較により課題を把握し、継続的な改善に取り組む。

また、院内に設置した投書箱などへ寄せられる苦情・要望等を真摯に受け止め、病院運営の改善を図る。

【目標指標】

指標	令和6年度実績	令和8年度目標
入院患者総合満足度(%)	85.8	前年度実績以上
外来患者総合満足度(%)	77.7	前年度実績以上

(3) 情報提供の推進

ホームページ、広報誌、動画など多様なメディアを活用し、医療に関する情報等を積極的に発信する。

また、病院祭「ふれ愛デー」や市民健康講座等の市民向け講演会や出前講座を行うことにより、医療に関する情報、糖尿病予防やフレイル予防など健康に関する情報の発信や普及啓発に努め、地域住民の健康の保持・増進に寄与する。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
市民向け講座開催数(回)	2

3 医療に関する調査及び研究

医療技術の発展に貢献するため、治験センターの運営等を通して新薬や新しい治療法に関する治験、市販後調査、大学などと連携した医師主導型の臨床研究等への参加を推進する。

また、長野市民病院医学雑誌の発刊や院内学術発表会の開催等により職員の研究意欲を引き出し、高度専門医療を担う病院として、医療水準の更なる向上を図る。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
治験件数(件)	16
臨床研究件数(件)	18

(注) 治験件数は、新規及び継続中の合計件数。

臨床研究件数は、新規の件数。

4 医療提供体制の充実

(1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実

ア 地域医療支援病院としての地域完結型医療の推進

高度急性期・急性期機能を有する地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携をなお一層強化し、紹介・逆紹介を円滑に進めながら、地域完結型医療を推進する。

イ 地域包括ケアシステムの更なる充実に向けた在宅医療の推進

地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰支援や施設・在宅からの緊急入院、レスパイト入院受入れに積極的に対応するほか、24 時間訪問看護体制の維持・充実と併せて訪問リハビリテーションを提供し、変化する地域の在宅医療の需要に適切に対応する。

また、「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」の運営や「医療と介護の連携推進セミナー」等の研修会を開催するなど、地域の在宅医療・介護関係者に対する情報提供や市民への啓発を推進する。

【目標指標】

指標	令和 6 年度実績	令和 8 年度目標
紹介件数(件)	14,932	15,150
逆紹介件数(件)	11,843	12,450
訪問看護訪問件数(件)	6,857	8,280

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
紹介率(%)	82.1
逆紹介率(%)	92.8

(2) 地域医療構想^{注19)}を踏まえた連携強化

長野県地域医療構想を踏まえ、長野医療圏内の他の医療機関や介護施設等との機能分担に努めるとともに、救急医療に係る病院間連携を推進し、引き続き長野医療圏における医療水準の向上に寄与する。

なお、令和 8 年度における当院の病床機能ごとの病床数は以下の表の通りである。精神科領域の入院医療については、地域の医療機関との連携により対応する。

【令和 8 年度における病床機能ごとの病床数】

病床機能	病床数
高度急性期(床)	169
急性期(床)	175
回復期(床)	56
合計(床)	400

(注) 長野県地域医療構想の状況によっては変更となる可能性あり。

(3) 近隣病院等への診療支援

長野県が指定する地域医療人材拠点病院としての派遣を含め、近隣の医師が不足する病院及びへき地医療を担う国保診療所等への診療支援として、引き続き医師派遣を行う。

【関連項目】

項目	令和 6 年度実績
医師派遣延べ件数(件)	168

(注) 長野県が要綱で定める医師不足が深刻な病院又は診療所への医師派遣件数。

(4) 医療機器の計画的な更新・整備

地域の医療需要や医療技術の進展、費用対効果、患者ニーズ等を踏まえ、地域における機能分担と連携を図る中で、高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、高額医療機器更新計画（6 ヶ年）を含め、効率的で効果的な予算執行により医療機器の更新・整備を進める。

(5) 医療DX^{注20)}の推進

ICT（情報通信技術）を活用した院外からの画像参照等による医療の質向上や、システム連携による入力業務の軽減、レセプトの自動チェック等による医療従事者の負担軽減並びに請求業務の質向上を図るとともに、生成 AI^{注21)}や RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）^{注22)}などのデジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化を図る。